

2023年7月10日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文  
(コード番号：4579)  
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹  
(TEL. 052-446-6100)

## 胃食道逆流症治療薬tegoprazanのインドネシアにおける販売開始に関するお知らせ

このたび、当社のサブライセンス先企業であるPT Kalbe Pharma Tbk（本社：インドネシア・ジャカルタ、以下「Kalbe社」）が、当社がHK inno.N Corporation（本社：韓国・オソン、以下「HKイノエン社」）を通じてライセンスした胃食道逆流症治療薬tegoprazan（以下「tegoprazan」）につきまして、インドネシアにおいて製品販売を開始いたしましたのでお知らせいたします。

Tegoprazanは、当社が創出したカリウムイオン競合型アシッドブロッカー（Potassium Competitive Acid Blocker：P-CAB）と呼ばれる新しい作用機序の胃酸分泌抑制剤です。P-CABは、胃食道逆流症治療の第一選択薬であるプロトンポンプ阻害剤（PPI）とは異なるメカニズムで、PPIよりも速やかに、かつ、持続的に胃酸分泌を抑制するという特長を持つ新世代の治療薬です。

当社は、HKイノエン社との間で、日本を除く全世界の開発・製造・販売に関する再実施許諾権（サブライセンス権）付き独占的ライセンス契約を締結しており、HKイノエン社および同社からライセンスを受けた世界各国のサブライセンス先企業によってtegoprazanに関する事業活動が進められております。2019年に世界で初めて販売が開始された韓国（製造販売会社：HKイノエン社；販売名「K-CAB®」）におきましては、2022年の韓国国内売上（院外処方実績）が市場シェア1位の1,321億ウォン（約132億円／1韓国ウォン=0.10円）となり、本年も1月から5月までの累積売上が607億ウォン（約60億円／1韓国ウォン=0.10円）に達するなど好調に販売を伸ばしております。

インドネシアにつきましては、2022年10月、Kalbe社がインドネシア当局から非びらん性胃食道逆流症患を適応症とする販売承認を取得し、発売に向けた準備を進めておりましたが、今月4日から販売名「TEZA」として販売が開始されることとなりました。2022年におけるインドネシアの消化性潰瘍薬の市場規模は約1億2,000万米ドル（約168億円／1米ドル=140円）であり、東南アジア地域では最大の市場となっております。

今回のインドネシアでの販売開始により、tegoprazanが販売されている国は、韓国、中国、モンゴル、フィリピン、メキシコおよびインドネシアの6カ国となりました。このほか30カ国において、臨床開発・承認審査・発売準備に関する取り組みが現在進められております。

当社は、HKイノエン社とのライセンス契約に基づき、HKイノエン社がKalbe社から得る収益の一定割合を受け取る権利を保有しております。本件に伴い、当社はHKイノエン社から一時金を受領し、2023年12月期第3四半期の事業収益として計上します。なお、本件による2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期連結業績への影響は軽微です。

当社は今後も引き続き、HKイノエン社との連携をより強固にし、開発支援並びにサブライセンス契約支援を継続して実施し、胃酸関連疾患治療の選択肢を広げることで、患者さんのQOLの向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

以 上

<ご参考>

Kalbe 社製品ウェブサイト（インドネシア語）：<https://kalbemed.com/product/id/543>

HK イノエン社ウェブサイト（韓国語）：[https://www.inno-n.com/pr/news/view/1/886?sch\\_text=](https://www.inno-n.com/pr/news/view/1/886?sch_text=)